

令和4年度 海上技術コース(専攻)入学式 式 辞

海技大学校の桜も満開となり、本日このよき日に、令和4年度海技大学校入学式を挙行できますことは、本校にとりまして大きな喜びであり、教職員を代表し、一言お祝いの言葉を申し上げさせていただきます。

海上技術コース(専攻)18期生の皆様、入学おめでとうございます。

海上技術コース(専攻)の皆様は、大学、大学院で修得した知識を基礎として、航海専攻は三級海技士(航海)、機関専攻は三級海技士(機関)の資格取得を目指して、本日より修業期間2年の三級海技士養成課程が始まります。通信教育、座学、実習、乗船訓練などを通じて、航海士、機関士となるために必要な基礎を身につけてください。

皆様が今後身を置く船の世界は、新しい技術の導入により、大きくその姿を変えてきました。最近では、DX(デジタルトランスフォーメーション)やCN(カーボンニュートラル)という言葉が頻繁に目にします。近い将来、新しい技術の導入が更に進み無人運航船、遠隔操縦船が世界の海を航海し、推進プラントで使用する燃料は、重油、LNGを経て水素、アンモニア燃料に代わる日も、もはや夢物語では無いのかもしれませんが。しかしながら、どんなに技術が発達し、船員を取り巻く環境がいくら変化しようとも、船員のスキルは、船舶運航の核であることは明白です。皆様は、この2年間で船員スキルの基礎部分を身に着けることになります。

海技大学校は、勉学環境に恵まれた国際文化住宅都市である芦屋市にあります。北側には六甲山を仰ぎ見て、南側には茅渚の海と呼ばれる大阪湾を眺望できます。周囲の美しい風景を楽しみながら、本校での学校生活に励んでいただきたいと思います。

海技大学校では、現在、新型コロナウイルス感染予防のため、ガイドラインを作り様々な取り組みを行っています。三密の回避、マスクの着用、手洗い励行を基本として、まず自分が感染しない、他人に感染させない行動を心がけ、何よりも情報の共有に努めていただくよう、ご理解ご協力のほどお願いします。

最後になりますが、本校での修学期間、健康には十分に留意するとともに、苦しい中にこそ喜びがあることを忘れずに、皆様のチャレンジ精神に敬意を表し、自分を信じ、自分で判断し、自分のためにご尽力されることを祈り、本日の式辞とさせていただきます。

令和4年4月6日

独立行政法人海技教育機構 海技大学校長 近藤 宏一